

	<h1>S S H 通信</h1>	広島大学附属高等学校
		Ⅱ年5組AS委員
		2021年度 第9号
		2022年 4月7日発行

4月になりましたが、昨年度のAS委員がお届けします。

3学期末のテスト期間中に、高校1年生、高校2年生が数学のオンライン研究会へ参加し、それぞれの学びを深めました。また、春休み中に高校2年生が修学旅行先から(!)日本水産学会へオンライン参加、発表を行い、そのうち1グループが奨励賞を受賞しました。これらのオンラインイベントの概要と感想をお届けします。

## オンライン研究会「直観幾何学2022」参加者より

研究会「直観幾何学2022」が3月12日(土)、13日(日)にオンラインで開催され、AS「一刀切りチーム」と1年生3名が本校数学教室で視聴しました。AS「一刀切りチーム」は数学の内容を発表する方法について学ぶことを目的として参加しました。1年生は4月からASコースに進級し数学分野での研究をする予定で、研究テーマ設定のヒントを得るために参加しました。また、この発表会では数学科の井上芳文先生が「正多角形を分割してできる三角形の五心について(高校生の考察)」という題目で担当している課題研究チーム(2年GSコース)の研究内容について紹介しました。最先端の内容に触れることで、数学の考察対象にはいろいろなものがあることがわかり勉強になりました。発表の仕方という面では、計算の過程よりも概要の説明に発表時間を割いていることが印象的でした。

## 日本水産学会参加 ASゴカイグループより

今回の学会は、かなり特殊な参加形式となりました。修学旅行と日程が重なってしまったため忙しかったです。発表当日となる3月28日(月)は事前撮影・編集したポスター発表動画を附属高校の先生に流していただき、私たちは質疑応答のみ、修学旅行先からリアルタイムで参加しました。

学会への参加はこれが初めてだったので、会の雰囲気などの想像ができず心配でした。しかし実際参加してみると、他の方々大変興味深そうに聞いていただけだったので、初めて聞く人の眼には自分たちの研究が新鮮に映ることがわかり自信ができました。

結果、私たちの研究は「奨励賞」をいただくことができました。発表の方に集中していたので驚きましたが、とても嬉しかったです。この賞を励みに、論文や他の対外発表に向けてこれからも精進していきます。



昼食会場に別室を用意してもらいました

## 日本水産学会参加 ASゼブラフィッシュグループより

今回の水産学会は、発表が修学旅行の1日目と重なってしまい、準備が大変でした。しかし、先生方のご協力のおかげで、事前に撮った発表動画を画面共有することでオンラインポスター発表に代え、修学旅行中の昼食時間に質疑応答を行うことができて良かったです。他の参加者からどのような質問がくるのか不安でしたが、事前の準備のおかげでスムーズに対応することができました。実験自体はあまり上手くいかなかったところもあるので、次(9月)の動物学会までに修正して、今回は今回より完成度の高い発表が出来るように頑張ります。



急いで昼食を摂り、質疑応答しました